

28年度第1回 法人全体研修開催される

見えてきた課題：利用者の高齢化に向けて

社会福祉法人にりん草が毎年開催している法人全体研修が、今年度も8月26日に仲宿地域センターで開かれました。

57名の参加者を前に小西理事長の開会の挨拶から始まり、次に今年度新しく発足した広報PT（プロジェクトチーム）メンバーが紹介されました。

地域に根ざす法人としての「にりん草」を幅広く知ってもらうための広報活動に加え、変化していくサービスや制度の情報発信の役割も担うことも踏まえて、今後、年3回程度広報紙を発行してゆく予定です。

その後、社会福祉法人にりん草監事である柴田佑士氏（柴田会計事務所所長）より、「法人運営において財務状況から課題と今後の展望をデジタルして」と



いう内容で4作業所の収支状況から「にりん草」の運営状況を分析しデジタル化されたわかりやすい説明がありました。

説明から浮き上がった課題として、高齢化を迎える利用者さんのための「生活介護」をどのように展開していくかが大きな鍵となるのが数字の上からも見えてきていました。

今回の研修の大きな目的は、現在「にりん草」のサービスを利用している利用者さんが高齢や疾病により現在の生活に不具合がでてきたことを踏まえての現状報告をしてもらうことで、今後の支援の在り方をみんなで考え、未来につなげるということにありました。

近年、各作業所で就労継続B型事業所を利用してきた方の中で、50歳を超えて働く力が衰えてきた方、難病が判明し生活介護に異動した方、他の療養介護事業に異動になった方、家庭の状況で入所施設に移られた方、高齢となり介護保険のサービスに移行した方、そして体調を崩されて思いがけず亡くなった方など、何年か前には想像もしなかった事態が起きています。

事例1. M作業所Sさんは、就労継続BからT作業所の生活介護に移られました。お母さんも高齢で送迎も無理がでなくなりました。熟慮を重ねて決断されたことですが、職員が丁寧に時間をかけて、Sさんが無

理なく慣れていけるよう体験を通して重ねました。

お母さんがT作業所に見学に行った際、本人がとてもいい表情で過ごしていたので安心して異動することができたとの報告がありました。

事例2. M作業所Mさんは、数年前から腰が痛いなどの訴えが続いていたが、進行性の難病と診断されました。

徐々に、移動が難しくなり平成27年7月より送迎車のあるH作業所の生活介護に異動することとなりました。H作業所では、月に2回指導にきてくれるPT（理学療法士）のアドバイスに従って運動を行ってききました。穏

やかに過ごされていきましたが、今年7月難病専門の療養介護施設（病院）に空きが生じたため、異動となりました。

事例3. グループホームに入居されているKさんは、M作業所の就労継続BからH作業所の生活介護に異動しました。1年ほど前難病が判明しPT指導の下、個別・集団体操にも参加しています。PT訓練のおかげで体幹も安定し、また、他の利用者とのコミュニケーションも良くなってきました。

事例4. T作業所のB型事業所を利用してNさんは、作業があまり得意ではなく、イライラする場面が増えてきました。本人的には公園清掃、車に乗るの納品、散歩は大好きで、就労継続Bから生活介護に移行することには、当初否定的でした

が、提案として生活介護に移行しても公園清掃できると伝えるとすんなりと受け入れてくれました。作業所側の柔軟な対応が移行をスムーズにした成功事例といえます。

歴史の長い作業所では、特に高齢化が著しく本人支援と並行して家族支援も不可欠とならざるをえない状況があり、本来の「作業をして工賃をもらう働く場」としてのB型事業所の役割をどのように考えていくのかも大きな課題となっています。

また生活介護事業においては、手厚い職員配置を今後も継続していくために、収入を見据えた見直しをしていかななくてはならないことがわかりました。社会福祉法人のあるべき姿に向け、さらなる検討を重ねる必要

要があるでしょう。

編集後記

久々の広報紙「ふたつの輪」の発行です。今回より本誌主導ではなく各事業所職員がプロジェクトチームを組んで作りました。

「ふたつの輪」の意味は、法人と手をつなぐ親の会が、車の両輪のように地域福祉に貢献する願いを込めて命名しました。

地域の中で障がいのある人もない人も助け合って暮らす共生社会を望まずにはいられません。津久井やまゆり園の19の命に合掌。

作業所おまつり情報



はすね感謝祭(はすね福祉作業所)

平成28年10月8日(土) 10時30分～14時00分 (雨天の場合は所内のみ)

場所:はすね福祉作業所&となりの公園 板橋区蓮根3-6-3
都営三田線西台駅より徒歩5分 ダイエー裏 TEL:03-3960-2861

◎はすね感謝祭に行ったら絶品『カレー』はおさえておきたいところ。ほかにCosmosのクッキーやイトスのパン、フレーバーポップコーン、河村屋のプリンなど人気のアイテムが並びます。今年からコーヒー片手に楽しめるライブスペースも出現。お待ちかねのミニミニコンサートは、今年も「ジャストフレンズ」のバンドサウンドで盛り上がり必至です。ちびっこに大人気のゲームコーナー、スタンプラリーもあるよ～

どんぐり祭り(とくまる福祉作業所)

平成28年10月29日(土) 11時00分～14時00分 (雨天の場合は所内で開催)

場所:まなくろ公園(作業所隣の公園です)
板橋区蓮根3-9-26 TEL:03-3558-1910
都営三田線西台駅より徒歩5分 蓮根小学校裏門前

◎どんぐり祭りは迫力のステージからはじまり歌にダンスで大盛り上がりです。みなさんに見てもらうためにステージ練習中です！(内容は当日までのおたのみです)おいしいやきそばと共にぜひ参加してください。わたがしやポップコーン他にもたくさんの模擬店やゲームもあります。あそびにきてください！待ってま～す！

まへの秋祭り(まへの福祉作業所)

平成28年11月5日(土) 10時00分～14時30分 (雨天決行)

場所:まへの福祉作業所&前野3丁目集会所
板橋区前野町3-17-12 TEL:03-3965-1031
都営三田線志村坂上駅より徒歩15分 スーパーカスミ側

◎まへの秋祭りでは、やきそばやカレーの模擬店、パザー、利用者の舞台発表、マジックショー、いたばしのいっぴんなどを販売いたします。いたばしのいっぴんは中野製菓のかりんとう、梅香亭の和菓子、安藤製菓のおせんべいなどがあります。調理職員手づくりの自慢のスイーツもご用意しておりますので、大勢の方のお越しをお待ちしております♪

ひまわりまつり(おおやま福祉作業所)

平成28年11月13日(日) 10時00分～14時30分 (雨天でもおこないます)

場所:おおやま福祉作業所
板橋区大山金井町21-1 TEL:03-5995-6186
東武東上線大山駅から徒歩7分、都営三田線板橋区役所前駅から徒歩10分

◎今や懐かしいバナナのたたき売りは見る価値大。40年以上の芸歴を誇る柳家メ治師匠の落語も毎年大盛況なので、良い席を確保したい方はお早めにお越しください。さらに利用者のダンス&パフォーマンスもお見逃しなく。ちなみに昨年は「R.Y.U.S.E.I.」と「Y.M.C.A.」を披露しました。他、目玉商品が目白押しのパザーやピンゴ大会など楽しさいっぱいの一日です。

